

戸籍附票システム

諸元表_共通項目

参考資料 3-②

項番	共通項目	表示形式	注意事項
1	氏名型	氏+口+名	<ul style="list-style-type: none"> 氏と名の間には全角スペースを入れること 名が空欄となる場合、「(名空欄)」と記載すること
2	本籍型	都道府県名+市区町村名+町字+地番	<ul style="list-style-type: none"> 住所型との違いは方書の有無及び丁目の漢数字表記 郡がある場合は郡名を含む(J-LIS住所辞書には入っているため) データ要件の内容に応じて変更となる可能性あり
3	住所型	都道府県名+市区町村名+町字+地番+口+方書	<ul style="list-style-type: none"> 方書は番地号枝番との区別がつくように間に全角スペースを入れること
4	日付型	(和暦)元号9年9月9日 (西暦)1999年9月9日	<ul style="list-style-type: none"> (和暦)元年は「1年」とせず、「元年」とすること。 (共通)年月日は全角数字とし、1桁の場合前に空白を設けないこと (共通)不詳日の場合は、不詳日である旨を記載すること。
5	自治体名型	都道府県名+市区町村名 →最大で13文字 例)和歌山県東牟婁郡那智勝浦町	<ul style="list-style-type: none"> 指定都市においては都道府県名を省略することも可能とする。 ※標準仕様書「5.6 公印・職名の印字」の通り 郡がある場合は郡名を含めること。
6	国名型	国名 →最大で26文字	<ul style="list-style-type: none"> 国名のみ
7	振り仮名型	法第17条の記載事項として戸籍の附票に記載されている氏の振り仮名+△+名の振り仮名	<ul style="list-style-type: none"> 氏又は名のみ振り仮名が法第17条の記載事項として戸籍の附票に記載されている場合、カタカナにより氏又は名の振り仮名を記載すること 氏又は名の振り仮名のいずれかが法第17条の記載事項として戸籍の附票に記載されていない場合、「(○空欄)」と記載すること 旧氏の振り仮名が法第17条の記載事項として戸籍の附票に記載されている場合、カタカナにより旧氏の振り仮名を記載すること

戸籍附票システム

諸元表_戸籍の附票の写し(全部証明・個人証明)

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数(繰り返し)	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ(ポイント)	最小フォントサイズ(ポイント)	その他編集条件
1	戸籍の附票の写し	タイトル	全部証明の場合は「全部証明」、個人証明の場合は「個人証明」と記載	1	無	全角	4	—	中央	—	9		
2		公用	通常は空白、公用使用目的での発行の場合、タイトル左に「【公用】」と記載	1	無	全角	4	—	右	—	9		
3		本籍	本籍地を記載	1	有	本籍型	20/3	—	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
4		筆頭者氏名	筆頭者氏名を氏名型で記載	1	有	氏名型	20/3	—	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
5		個人除区分	附票に記録されている者が消除者の場合、「附票に記載されている者」表記の下部に「消除」と記載の上枠で囲む	1	無	全角	2	—	中央	—	9		
6		【氏名】	「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け	1	無	全角	4	—	中央	—	9		
7		個人氏名	「【氏名】」に続けて記載	1	有	氏名型	20/3	—	左	○	16		
8		【氏名の振り仮名】	氏名の振り仮名 「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け ※番号法等の改正後の住民基本台帳法の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に氏名の振り仮名が記載されていない者においては記載なし	1	無	全角	9	—	中央	—	9		
9		氏名の振り仮名	氏名の振り仮名 「【氏名の振り仮名】」に続けて記載 ※番号法等の改正後の住民基本台帳法の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に氏名の振り仮名が記載されていない者においては記載なし	1	無	振り仮名型	20	—	左	○	9		
10		【旧氏】	「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け ※番号法等の改正後の住民基本台帳法施行令の一部改正の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に旧氏が記載されていない者においては記載なし	1	無	全角	4	—	中央	—	9		
11		旧氏	「【旧氏】」に続けて記載 ※番号法等の改正後の住民基本台帳法施行令の一部改正の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に旧氏が記載されていない者においては記載なし	1	無	全角	20	—	左	○	16		
12		【旧氏の振り仮名】	「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け ※番号法等の改正後の住民基本台帳法施行令の一部改正の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に旧氏の振り仮名が記載されていない者においては記載なし	1	無	全角	9	—	中央	—	9		
13		旧氏の振り仮名	「【旧氏の振り仮名】」に続けて記載 ※番号法等の改正後の住民基本台帳法施行令の一部改正の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に旧氏の振り仮名が記載されていない者においては記載なし	1	無	振り仮名型	20	—	左	○	9		
14		【生年月日】	「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け ※デジタル手続法第9号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	6	—	中央	—	9		
15		生年月日	「【生年月日】」に続けて記載 ※デジタル手続法第9号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	日付型	11	和暦	左	○	9		
16		【性別】	「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け ※デジタル手続法第9号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	4	—	中央	—	9		
17		性別	「【性別】」に続けて「男」/「女」の別を記載 ※デジタル手続法第9号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	1	—	左	—	9		
18		【住民票コード】	「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け ※デジタル手続法第10号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	8	—	中央	—	9		
19		住民票コード	「【住民票コード】」に続けて「4桁+□+4桁+□+3桁」で記載 ※デジタル手続法第10号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	13	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
20		【在外選挙人名簿登録市町村名】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け	1	無	全角	15	—	左	—	9		
21		在外選挙人名簿登録市区町村名	「【在外選挙人名簿登録市町村名】」に続けて自治体名で記載	1	無	自治体名型	13	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
22		【在外投票人名簿登録市町村名】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け	1	無	全角	15	—	左	—	9		

戸籍附票システム

諸元表_戸籍の附票の写し(全部証明・個人証明)

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数(繰り返し)	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ(ポイント)	最小フォントサイズ(ポイント)	その他編集条件	
23	戸籍の附票の写し	在外投票人名簿登録市区町村名	【在外投票人名簿登録市区町村名】に続けて自治体名型で記載	1	無	自治体名型	13	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略	
24		【住所】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け	履歴分	無	全角	4	—	中央	—	9			
25		住所	「【住所】」に続けて住所型で記載	履歴分	有	住所型	20/3	—	左	○	9			
26		【国外転出先】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け	履歴分	無	全角	7	—	中央	—	9			
27		国外転出者である旨	「【国外転出先】」に続けて記載	履歴分	無	全角	35	—	左	○	9			
28		【住定日】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け	履歴分	無	全角	5	—	中央	—	9			
29		住所を定めた年月日	「【住定日】」に続けて日付型で記載	履歴分	無	日付型	11	和暦	左	○	9			
30		【転出予定日】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け	履歴分	無	全角	7	—	中央	—	9			
31		転出予定年月日	「【転出予定日】」に続けて日付型で記載	履歴分	無	日付型	11	和暦	左	—	9			
32		【備考】	「【】」で囲ってタイトルを記載	1	無	全角	4	—	左	—	9			
33		■改製記載年月日	左記記載が存在している場合は、「【備考】」の1行下、枠左端から1文字空け「■改製記載年月日:」と記載、スペースを空けず最新の「改製記載年月日」を記載	1	無	全角	20	—	左	○	9			
34		■再製記載年月日	左記記載が存在している場合は、「【備考】」の1行下、枠左端から1文字空け「■再製記載年月日:」と記載、スペースを空けず最新の「再製記載年月日」を記載	1	無	全角	20	—	左	○	9			
35		■編製年月日	改製記載年月日又は再製記載年月日が存在する場合はその1行下に記載 存在しない場合は「【備考】」の1行下 枠左端から1文字空け「■編製年月日:」と記載、スペースを空けず「編製年月日」を記載	1	無	全角	18	—	左	○	9			
36		■異動履歴	異動履歴を記載する場合、枠左端から1文字空け記載 編製年月日とは罫線で区分け	1	無	全角	5	—	左	—	9			特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
37		異動対象者氏名	「■異動履歴」の1行下、枠左端から1文字空け「氏名:」と記載、スペースを空けず「対象者氏名」を記載(最新の氏名を記載すること) 対象者氏名を2名以上同一の戸籍の附票の写しに表示する場合は2人目から罫線で区分けすること	異動項目分	有	全角	20/3	—	左	○	9			特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
38		異動履歴	異動対象者氏名の1行下、枠左端から2文字空け「事由の生じた年月日」+「異動」+「()」で囲って異動事由(「戸籍の届出による記載」、「転出」等)を記載+「()」で囲って「処理日」+「職権」を記載	異動項目分	有	全角	40	和暦	左	○	9			特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
39		異動項目	異動履歴の1行下、枠左端から3文字空け「異動項目:」と記載、スペースを空けず「異動項目」を記載	異動項目分	無	全角	20	—	左	—	9			特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
40		異動前	異動項目の1行下、枠左端から3文字空け「異動前:」と記載、スペースを空けず「異動項目の異動前の値」を記載	異動項目分	有	全角	20/3	—	左	○	9			特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
41		異動後	異動前の1行下、枠左端から3文字空け「異動後:」と記載、スペースを空けず「異動項目の異動後の値」を記載	異動項目分	有	全角	20/3	—	左	○	9			特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
42		■その他	その他の備考を記載する場合、前行から1行空け、枠左端から1文字空け記載	1	無	全角	4	—	左	—	9			特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
43		その他備考		備考分	有	全角	55/4	—	左	○	9			特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし ※消去になった者における誤記修正の旨及び正しい記載については必ず記載
44		以下余白	前行から1行空けて記載、枠左端から1文字空け文字は()で囲う	1	無	全角	—	—	左	—	9			
45		発行番号	記載例:「20261001 ●●市本庁1プリンタ001 011 1/2」	ページ数分	無	全角/半角	32	—	左	○	9			
46		振り仮名注釈	「※戸籍において氏又は名の振り仮名の届出がされていない場合は、(氏空欄)又は(名空欄)と表示されます。」と記載	1	無	全角	51	—	左	—	9			氏または名の振り仮名を空欄と表示する場合に注釈を記載する

戸籍附票システム

諸元表_戸籍の附票の写し(全部証明・個人証明)

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数(繰り返し)	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ(ポイント)	最小フォントサイズ(ポイント)	その他編集条件
47	戸籍の附票の写し	認証文	最終ページにのみ記載、発行番号から3行空ける、左端から1文字空け「この写しは、戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。」と記載	1	無	全角	27	—	左	—	9		
48		公証(年月日)	最終ページにのみ記載、認証文から1行空ける	1	無	日付型	11	和暦	左	—	9		
49		公証(職務代理人)	最終ページにのみ記載、認証文から1行空ける、職務代理人欄に寄せる、「都道府県名+市区町村名+長」又は「都道府県名+市区町村名+長(職務代理人)」と記載	1	無	全角	30	—	右	—	9		
50		公証(職務代理人名)	最終ページにのみ記載、公証(職務代理人)の右、公印欄に寄せる、公印に重ならない	1	無	全角	7	—	右	○	14		
51		公印	最終ページにのみ記載	—	—	イメージ	—	—	—	—	—	—	
52		公印(公印省略)	公印を省略する場合は、職務代理人名の後に「(公印省略)」を印字する	1	無	全角	6	—	中央	—	11		
53		公印(注釈)	公印の直下に任意の文言を印字する 例)「この印は黒色です」	1	無	全角	30	—	右	—	9		

※:単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白(上)※	最低余白(下)※	最低余白(左)※	最低余白(右)※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	戸籍の附票の写し(全部証明)	A4(改ざん防止用紙)	縦	11	5	13	5	住所履歴数に応じた人数	—	有	有	有	有	有	附票全員	同一の戸籍の者の並び順かつ住所履歴の降順	有り	1,2
2	〃(2枚目以降)	A4(改ざん防止用紙)	縦	11	5	13	5	住所履歴数に応じた人数	—	有	有	有	有	有	附票全員	同一の戸籍の者の並び順かつ住所履歴の降順	有り	1,2
3	戸籍の附票の写し(個人証明)	A4(改ざん防止用紙)	縦	11	5	13	5	1	—	有	有	有	有	有	選択された附票個人(複数個人も可)	同一の戸籍の者の並び順かつ住所履歴の降順	有り	3,4
4	〃(2枚目以降)	A4(改ざん防止用紙)	縦	11	5	13	5	1	—	有	有	有	有	有	選択された附票個人(複数個人も可)	同一の戸籍の者の並び順かつ住所履歴の降順	有り	3,4

※:単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「—」を記入する。

戸籍附票システム

諸元表_戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数(繰り返し)	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ(ポイント)	最小フォントサイズ(ポイント)	その他編集条件
1	戸籍の附票の除票の写し	附票の写し区分	「除票」と記載	1	無	全角	2	—	中央	—	9		
2		タイトル	全部証明の場合は「全部証明」、個人証明の場合は「個人証明」と記載	1	無	全角	4	—	中央	—	9		
3		公用	通常は空白、公用使用目的での発行の場合、タイトル左に「【公用】」と記載	1	無	全角	4	—	右	—	9		
4		本籍	本籍地を記載	1	有	本籍型	20/3	—	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
5		筆頭者氏名	筆頭者氏名を氏名型で記載	1	有	氏名型	20/3	—	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
6		個人除区分	「附票に記載されている者」表記の下部に「消除」と記載の上枠で囲む(除票に記載されている者は全員消除の取り扱い)	1	無	全角	2	—	中央	—	9		
7		【氏名】	「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け	1	無	全角	4	—	中央	—	9		
8		個人氏名	「【氏名】」に続けて記載	1	有	氏名型	20/3	—	左	○	16		
9		【氏名の振り仮名】	氏名の振り仮名 「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け ※番号法等の改正後の住民基本台帳法の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に氏名の振り仮名が記載されていない者においては記載なし	1	無	全角	9	—	中央	—	9		
10		氏名の振り仮名	氏名の振り仮名 「【氏名の振り仮名】」に続けて記載 ※番号法等の改正後の住民基本台帳法の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に氏名の振り仮名が記載されていない者においては記載なし	1	無	振り仮名型	20	—	左	○	9		
11		【旧氏】	「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け ※番号法等の改正後の住民基本台帳法施行令の一部改正の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に旧氏が記載されていない者においては記載なし	1	無	全角	4	—	中央	—	9		
12		旧氏	「【旧氏】」に続けて記載 ※番号法等の改正後の住民基本台帳法施行令の一部改正の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に旧氏が記載されていない者においては記載なし	1	無	全角	20	—	左	○	16		
13		【旧氏の振り仮名】	「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け ※番号法等の改正後の住民基本台帳法施行令の一部改正の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に旧氏の振り仮名が記載されていない者においては記載なし	1	無	全角	9	—	中央	—	9		
14		旧氏の振り仮名	「【旧氏の振り仮名】」に続けて記載 ※番号法等の改正後の住民基本台帳法施行令の一部改正の施行日以降に法第17条に基づく記載事項として戸籍の附票に旧氏の振り仮名が記載されていない者においては記載なし	1	無	振り仮名型	20	—	左	○	9		
15		【生年月日】	「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け ※デジタル手続法第9号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	6	—	中央	—	9		
16		生年月日	「【生年月日】」に続けて記載 ※デジタル手続法第9号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	日付型	11	和暦	左	○	9		
17		【性別】	「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け ※デジタル手続法第9号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	4	—	中央	—	9		
18		性別	「【性別】」に続けて「男」/「女」の別を記載 ※デジタル手続法第9号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	1	—	左	—	9		
19		【住民票コード】	「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け ※デジタル手続法第10号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	8	—	中央	—	9		
20		住民票コード	「【住民票コード】」に続けて「4桁+□+4桁+□+3桁」で記載 ※デジタル手続法第10号施行日前に消除となった者においては記載なし	1	無	全角	13	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
21		【在外選挙人名簿登録市町村名】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け	1	無	全角	15	—	左	—	9		
22		在外選挙人名簿登録市区町村名	「【在外選挙人名簿登録市町村名】」に続けて自治体名型で記載	1	無	自治体名型	13	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
23		【在外投票人名簿登録市町村名】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、均等割り付け	1	無	全角	15	—	左	—	9		

戸籍附票システム

諸元表_戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数(繰り返し)	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ(ポイント)	最小フォントサイズ(ポイント)	その他編集条件
24	戸籍の附票の除票の写し	在外投票人名簿登録市区町村名	「【在外投票人名簿登録市区町村名】」に続けて自治体名で記載	1	無	自治体名	13	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは省略
25		【住所】	「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け	履歴分	無	全角	4	—	中央	—	9		
26		住所	「【住所】」に続けて住所型で記載	履歴分	有	住所型	20/3	—	左	○	9		
27		【国外転出先】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け	履歴分	無	全角	7	—	中央	—	9		
28		国外転出者である旨	「【国外転出先】」に続けて記載	履歴分	無	全角	35	—	左	○	9		
29		【住定日】	「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け	履歴分	無	全角	5	—	中央	—	9		
30		住所を定めた年月日	「【住定日】」に続けて日付型で記載	履歴分	無	日付型	11	和暦	左	○	9		
31		【転出予定日】	左記記載が存在する場合該当する名称について「【】」で囲ってタイトルを記載、他タイトルと右端を揃えるため均等割り付け	履歴分	無	全角	7	—	中央	—	9		
32		転出予定年月日	「【転出予定日】」に続けて日付型で記載	履歴分	無	日付型	11	和暦	左	—	9		
33		除票となった旨及び日付	「■除票となった旨及び年月日:」と記載、スペースを空けず「事由の生じた年月日」+「(異動)」+「()」で囲って異動事由(「戸籍の届出による削除」、「改製」等)+「()」で囲って「処理日」+「職権」を記載	1	無	全角	53	—	左	○	9		
34		【備考】	前行から1行空け、「【】」で囲ってタイトルを記載	1	無	全角	4	—	左	—	9		
35		■改製消除年月日	改製で除票となった場合、「【備考】」の1行下、枠左端から1文字空け「■改製消除年月日:」と記載、スペースを空けず「改製消除年月日」を記載	1	無	全角	20	—	左	○	9		
36		■改製記載年月日	左記記載が存在している場合で改製消除年月日が存在する場合はその1行下、改製消除年月日が存在しない場合は「【備考】」の1行下、枠左端から1文字空け「■改製記載年月日:」と記載、スペースを空けず最新の「改製記載年月日」を記載	1	無	全角	20	—	左	○	9		
37		■再製記載年月日	左記記載が存在している場合で改製消除年月日が存在する場合はその1行下、改製消除年月日が存在しない場合は「【備考】」の1行下、「【備考】」の1行下、枠左端から1文字空け「■再製記載年月日:」と記載、スペースを空けず最新の「再製記載年月日」を記載	1	無	全角	20	—	左	○	9		
38		■編製年月日	改製記載年月日又は再製記載年月日が存在する場合はその1行下に記載 存在しない場合は「【備考】」の1行下、異動履歴が記載されている場合は罫線で区分け 枠左端から1文字空け「■編製年月日:」と記載、スペースを空けず「編製年月日」を記載	1	無	全角	18	—	左	○	9		
39		■異動履歴	異動履歴を記載する場合、枠左端から1文字空け記載	1	無	全角	5	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
40		異動対象者氏名	「■異動履歴」の1行下、枠左端から1文字空け「氏名:」と記載、スペースを空けず「対象者氏名」を記載(最新の氏名を記載すること) 対象者氏名を2名以上同一の戸籍の附票の写しに表示する場合は2人目から罫線で区分けすること	異動項目分	無	全角	55	—	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
41		異動履歴	異動対象者氏名の1行下、枠左端から2文字空け「事由の生じた年月日」+「(異動)」+「()」で囲って異動事由(「戸籍の届出による記載」、「転出」等)を記載+「()」で囲って「処理日」+「職権」を記載	異動項目分	有	全角	40	和暦	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
42		異動項目	異動履歴の1行下、枠左端から3文字空け「異動項目:」と記載、スペースを空けず「異動項目」を記載	異動項目分	無	全角	20	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
43		異動前	異動項目の1行下、枠左端から3文字空け「異動前:」と記載、スペースを空けず「異動項目の異動前の値」を記載	異動項目分	有	全角	20/3	—	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
44		異動後	異動前の1行下、枠左端から3文字空け「異動後:」と記載、スペースを空けず「異動項目の異動後の値」を記載	異動項目分	有	全角	20/3	—	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし
45		■その他	その他の備考を記載する場合、前行から1行空け、枠左端から1文字空け記載	1	無	全角	4	—	左	—	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし

戸籍附票システム

諸元表_戸籍の附票の除票の写し(全部証明・個人証明)

1. 項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数(繰り返し)	折り返し	型	桁数/行※	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ(ポイント)	最小フォントサイズ(ポイント)	その他編集条件
46	戸籍の附票の除票の写し	その他備考		備考分	有	全角	55/4	—	左	○	9		特別の請求又は必要である旨の申出がない限りは記載なし ※削除になった者における誤記修正の旨及び正しい記載については必ず記載
47		以下余白	前行から1行空けて記載、枠左端から1文字空け文字は()で囲う	1	無	全角	—	—	左	—	9		
48		発行番号	記載例:「20261001 ●●市 本庁1 プリント001 011 1/2」	ページ数分	無	全角/半角	32	—	左	○	9		
49		振り仮名注釈	「※削除となった時点で、戸籍において氏又は名の振り仮名の届出がされていない場合は、(氏空欄)又は(名空欄)と表示されます。」と記載	1	無	全角	62	—	左	—	9		氏または名の振り仮名を空欄と表示する場合に注釈を記載する
50		認証文	最終ページにのみ記載、発行番号から3行空ける、左端から1文字空け「この写しは、戸籍の附票の除票の原本と相違ないことを証明する。」と記載	1	無	全角	30	—	左	—	9		
51		公証(年月日)	最終ページにのみ記載、認証文から1行空ける	1	無	日付型	11	和暦	左	—	9		
52		公証(職務代理人)	最終ページにのみ記載、認証文から1行空ける、職務代理人欄に寄せる、「都道府県名+市区町村名+長」又は「都道府県名+市区町村名+長(職務代理人)」と記載	1	無	全角	30	—	右	—	9		
53		公証(職務代理人名)	最終ページにのみ記載、公証(職務代理人)の右、公印欄に寄せる、公印に重ならない	1	無	全角	7	—	右	○	14		
54		公印	最終ページにのみ記載	—	—	イメージ	—	—	—	—	—	—	
55		公印(公印省略)	公印を省略する場合は、職務代理人名の後に「(公印省略)」を印字する	1	無	全角	6	—	中央	—	11		
56		公印(注釈)	公印の直下に任意の文言を印字する例)「この印は黒色です」	1	無	全角	30	—	右	—	9		

※:単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。

2. 構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白(上)※	最低余白(下)※	最低余白(左)※	最低余白(右)※	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	職務執行者	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	戸籍の附票の除票の写し(全部証明)	A4(改ざん防止用紙)	縦	11	5	13	5	住所履歴数に応じた人数	—	有	有	有	有	有	附票全員	同一の戸籍の者の並び順かつ住所履歴の降順	有り	1.2
2	〃(2枚目以降)	A4(改ざん防止用紙)	縦	11	5	13	5	住所履歴数に応じた人数	—	有	有	有	有	有	附票全員	同一の戸籍の者の並び順かつ住所履歴の降順	有り	1.2
3	戸籍の附票の除票の写し(個人証明)	A4(改ざん防止用紙)	縦	11	5	13	5	住所履歴数に応じた人数	—	有	有	有	有	有	選択された附票個人(複数個人も可)	同一の戸籍の者の並び順かつ住所履歴の降順	有り	3.4
4	〃(2枚目以降)	A4(改ざん防止用紙)	縦	11	5	13	5	住所履歴数に応じた人数	—	有	有	有	有	有	選択された附票個人	同一の戸籍の者の並び順かつ住所履歴の降順	有り	3.4

※:単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「—」を記入する。